

## 会社概要

商号	レスク株式会社 / RESC, LTD.
本社	東京都渋谷区広尾 1-11-2
TEL / FAX	03-5422-8551 / 03-5422-8552
設立	平成 21 年 1 月 30 日
資本金	12,000,000 円
代表取締役	鈴木大介 学歴 MIT/機械工学部修士、ミシガン大学/MBA 卒 職歴 米国で新エネルギー分野の企画・開発、日本で新規事業の開拓・運営
事業内容	1. e-モビリティとモジュールキットの開発・ファブレス製造・販売 2. バッテリー技術と ICT・ビッグデータを融合した e-モビリティ用インフラサービスの開発・提供

RESC（レスク）は、自然災害にも強く、再生可能エネルギーを基盤とした e-モビリティ社会の実現を目指して創設されました。e-モビリティ社会の実現には、新しいシステム＝仕組みが必要であると考える当社は、“いつでも・どこでも最適な状態に充電・交換・管理ができるカセット型バッテリーの仕組み”を提案しています。



当社のカセット型バッテリー「バッテリーキャリー」は、便利なキャリーバックスタイルで、内蔵された Bluetooth モジュールによりスマートフォンでの情報表示と操作が可能です。更にバッテリーキャリー情報は、インターネット通信によりクラウドサーバーにもアップされ、リアルタイムで一括管理が可能です。

## 製品・サービス紹介

東京モーターショー2013 ではバッテリーキャリアを活用した製品・サービスを紹介しています。

### 電動バイク「スカルピーナ」

- イタリアンデザイン
- 高剛性で軽量なアルミフレーム
- ブースターでパワフル走行



**Scarpina**<sup>®</sup>  
スカルピーナ

イタリアンデザインをベースにした、お洒落で環境にも優しい電動バイクです。軽くて丈夫なアルミフレームと、高性能インホイールモーターにより軽快な走行を実現しました。バッテリーキャリアは車体から簡単な取外しと持運びが可能で、家庭用100Vコンセントにて手軽に充電できます。また取外したバッテリーキャリアにオプションのインバータを接続することで、ポータブル蓄電池「PPS」として電気製品等に利用できます（業界初）。

### 電動3輪バイク「エコキャリア」

- 独自開発の後輪サスペンション
- バック走行機能
- ワンタッチ・パーキング機能

**EcoCarry**<sup>®</sup>  
エコキャリア



スタンダード タイプ



フロントラック タイプ



キャノピー タイプ

独自の後輪サスペンション技術（実用新案申請済）と、スカルピーナをベースに開発された電動3輪バイクです（原付一種、軽二輪及び、ミニカー登録が可能）。静寂でクリーンな走行性と高い経済性を持ち合わせており、配達・運搬業務への導入に適しています。通常の電動バイクはバッテリー切れや充電航続距離が心配されますが、エコキャリアのバッテリーは事前に充電したスペアと簡単に交換できますので、業務への支障を起こしません。ラインナップは用途に合わせた、スタンダード、フロントラック及び、キャノピーの3タイプです。

## 充電ステーション「充電ロッカー」

- 同時に最大4個まで収納と充電が可能
- 定置型蓄電池・非常用電源として活用が可能
- 太陽光発電で自立運転が可能
- カードリーダーと通信機能を搭載(タイプB)  
バッテリーレンタル業務へ使用が可能

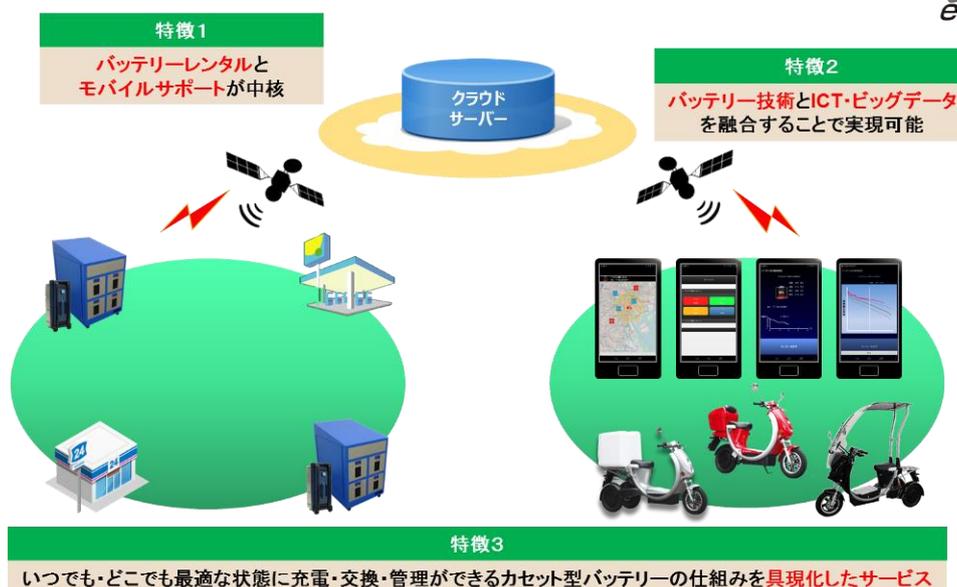


**Juden** ⚡  
**Locker**®  
充電ロッカー

ロッカー式による簡単なバッテリー交換タイプの充電ステーションです。同時に最大4個のバッテリーキャリアの収納と充電が可能です。充電ロッカーでスペアーのバッテリーキャリアを事前に充電することにより、スカルピーナとエコキャリアの継続走行が可能になります。AC100V供給も可能なので、定置型蓄電池・非常用電源として活用できるのみか、ソーラーパネルの接続により、太陽光発電で自立運転もできます。東京都支援プロジェクトのもと、現在開発中です。

## e-モビリティ用インフラサービス「e-プラットフォーム」

**e-Platform**®  
e-プラットフォーム



レスクが提案する“いつでも・どこでも最適な状態に充電・交換・管理ができるカセット型バッテリーの仕組み”を具現化したe-モビリティ用インフラサービスです。e-プラットフォームにより、ユーザーのe-モビリティに対する懸念（出先での電池切れ、充電による無駄な待ち時間と手間、劣化したバッテリーの買い替え）を解消すると共に、新しいライフスタイルの提案を追及していきます。（2015年からサービス提供予定）

当社の製品とインフラサービスを通して、人々の再生可能エネルギーへの興味と理解の向上のみならず、実際の普及に向けて関与して頂くことを切に願っております。